

霊長類研究所の在り方に係る方向性について

現行体制

霊長類研究所



進化形態分野

系統発生分野

生態保全分野

社会進化分野

思考言語分野 ❌

認知学習分野 ❌

高次脳機能分野

統合脳システム分野

ゲノム進化分野

※ 細胞生理分野

附属人類進化モデル研究センター

附属国際共同先端研究センター

※細胞生理分野は今後の人員体制等を考慮し一旦廃止する

新体制（案）

改編のポイント

- ・ 霊長類研究所はヒト行動進化研究センター（仮称）に改編
- ・ 霊長類研究所が占有している犬山地区は「京大犬山キャンパス」と位置付け、ヒト行動進化研究センター（仮称）を中心とした複数部局により構成される運営協議会を新設し、センターを中心に共同管理
- ・ 運営等に係る全ての事項を犬山キャンパス運営協議会で決定
- ・ サルの飼育は運営協議会のもとヒト行動進化研究センター（仮称）が関連部局の協力を得て実施

京都大学犬山キャンパス運営協議会

ヒト行動進化研究センター（仮称）

全学教員部

高次脳機能

統合脳システム

ゲノム進化

人類進化モデル研究センター

国際共同先端研究センター

総合博物館

全学教員部

進化形態

系統発生

理学研究科

生物科学系

野生動物研究センター

生態F学系

生態保全

社会進化

生態学研究センター

生態F学系

- 新センターは、北部構内事務部長を経理責任者とし、各種経理事務を客観的かつ厳格に執行できる体制を整備
- 新センター及び犬山キャンパス運営協議会にかかる事務は北部構内事務部が担当